

## ●収益の状況

債券市況の悪化により有価証券利息配当金が前年同期比2億27百万円減少したこと等を要因として、基本的な収益力であるコア業務純益は前年同期比98百万円減少し、13億65百万円となりました。

経常利益は国債等債券売却損が増加したこと等により、前年同期比54百万円減少し、10億70百万円となりました。

当期純利益は前年同期比3億29百万円増加し、9億68百万円となりました。

### ○損益状況と総与信費用の推移

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
経常利益	596	1,124	1,070
当期純利益	301	639	968
コア業務純益	1,141	1,463	1,365
総与信費用	501	524	179

※コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益  
 ※総与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額

## ●預金・預り資産・貸出金の状況

預金につきましては、前年同期比61億13百万円減少し、2,355億55百万円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出、地方公共団体向け貸出が減少した結果、前年同期比47億83百万円減少し1,907億66百万円となりました。

### ○預金、個人預金及び預り資産残高の推移

(単位：億円)

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
預金	2,463	2,416	2,355
個人預金	1,733	1,713	1,673
預り資産	234	232	227

### ○貸出金及び佐賀県内向け貸出金の推移

(単位：億円)

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
貸出金	1,961	1,955	1,907
佐賀県内向け貸出金	1,415	1,375	1,320

## ●自己資本比率の状況（国内基準）

2023年3月期における自己資本比率は、9.17%となりました。

自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。

※自己資本比率とは総資産に対する自己資本（資本金や引当金等）の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

### ○自己資本比率の推移

(単位：%)

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
自己資本比率（国内基準）	8.44	8.68	9.17

## ●不良債権の状況

当行は、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力するとともに、不良債権の圧縮に努めております。

2023年3月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、76億89百万円であり、総与信に対する割合は4.01%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高の内75.08%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

### ○金融再生法に基づく開示基準による資産内容

(単位：百万円)

	2023年3月期				
	債権残高 A	担保等による 保全額B	貸倒引当金 C	保全額 D=B+C	保全率(%) D/A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	914	572	342	914	100.00
危険債権	5,298	2,858	1,212	4,070	76.81
要管理債権	1,475	541	246	788	53.42
合計	7,689	3,972	1,801	5,773	75.08

# 事業の概況

コンプライアンス  
(法令等遵守)

リスク管理

地域密着型金融  
の取り組み状況

事業の概況

主要な業務  
の内容

役員一覧・  
組織図

資本・株式・  
従業員の状況

財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

パブリック  
開示事項

報酬等に  
関する開示事項

店舗  
一覧

ATM

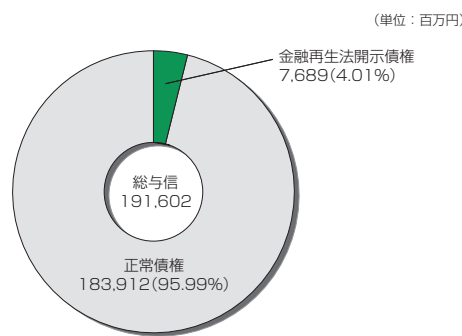
## ○不良債権（金融再生法開示債権）の推移 (単位：百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
金融再生法開示債権残高	6,155	7,228	7,689
金融再生法開示債権比率	3.12%	3.68%	4.01%

### 金融再生法に基づく開示基準の概要

- 総与信……………貸出金、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、貸付有価証券
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…… 経営が破綻した取引先への債権
- 危険債権……………経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- 要管理債権……………元金または利息の支払が3カ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権（上記2債権を除く）

## ●総与信に占める金融再生法開示債権の残高と比率 (単位：百万円)



※記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

## ●最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移 (単位：百万円)

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益	5,549	5,896	5,881	6,125	6,262
経常利益	403	98	596	1,124	1,070
当期純利益	256	485	301	639	968
持分法を適用した場合の投資利益	—	—	—	—	—
資本金 (発行済株式総数)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)
純資産額	14,399	13,675	15,341	14,984	15,334
総資産額	262,813	258,056	278,337	274,638	264,298
預金残高	230,416	229,313	246,340	241,668	235,555
貸出金残高	181,287	183,625	196,126	195,549	190,766
有価証券残高	62,732	59,492	60,212	58,888	52,229
1株当たり純資産額	658.58円	625.55円	701.97円	685.77円	702.00円
1株当たり配当額 (内1株当たり中間配当額)	6.00円 (3.00円)	7.00円 (3.00円)	6.00円 (3.00円)	6.00円 (3.00円)	6.00円 (3.00円)
1株当たり当期純利益	11.75円	22.22円	13.80円	29.28円	44.30円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—	—	—	—
配当性向	51.05%	31.49%	43.47%	20.49%	13.54%
従業員数	289人	278人	284人	285人	267人
自己資本比率	5.47%	5.29%	5.51%	5.45%	5.80%
単体自己資本比率 (国内基準)	8.13%	8.42%	8.44%	8.68%	9.17%
自己資本利益率	1.75%	3.46%	2.07%	4.21%	6.38%
株価収益率	—	—	—	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,408	△4,875	6,668	△1,212	△4,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	232	1,512	1,205	172	5,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	△131	△155	△132	△134
現金及び現金同等物の期末残高	17,035	13,540	21,259	20,087	21,081

- (注) 1. 当行は関連会社がないため、持分法を適用した場合の投資利益は記載しておりません。  
 2. 第105期（2023年3月）中間配当についての取締役会決議は2022年11月10日に行いました。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。  
 4. 2020年3月期の1株当たり配当額7.00円には、創業70周年記念配当1.00円を含んでおります。  
 5. 自己資本比率は、（期末純資産の部合計－期末株式引受権－期末新株予約権）を期末資産の部の合計で除して算出してしております。  
 6. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出してしております。当行は、国内基準を採用しております。  
 7. 株価収益率については、非上場であるため、記載しておりません。  
 8. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

## ● 2022年度に行った施策

### ・きょうぎんマルシェの開催

当行では事業者さまの売上拡大支援として、毎月第3水曜日に当行本店ロビーにて、「きょうぎんマルシェ」を定期開催しております。また、2022年10月には、西九州新幹線開業を記念して、武雄温泉駅前で「きょうぎんマルシェ」を開催し、多数のお客さまにご来場いただきました。

今後も、地域の活性化につながる取組を実施してまいります。

### ・「佐賀共栄銀行バンキングアプリ」の提供開始

2022年9月より、お客さまの利便性向上のために、スマートフォン向けアプリ「佐賀共栄銀行バンキングアプリ」の提供を開始しました。スマートフォンをお使いであればご登録していただくことで、その場ですぐに口座の残高、入出金明細が確認できるなど、便利にお使いいただけるサービス内容となっております。

### ・残高1万円未満の預金口座解約手続きにおける「印鑑不要」の取扱開始

2023年3月より、個人および個人事業主のお客さまを対象に、残高1万円未満の普通預金口座等の解約手続きにおいて、運転免許証等の顔写真付本人確認書類をご提示いただくことで、お届け印の押印を不要とし、署名のみでのお手続きを可能といたしました。

### ・インボイスセミナーの開催

2023年10月1日より開始となる、インボイス制度につきまして、課税事業者さま向けおよび免税事業者さま向けにインボイスセミナーを開催いたしました。

### ・「新生活応援キャンペーン」の実施

個人のお客さまで、当行の口座を新たに給与受取口座または奨学金受取口座にご指定いただいたお客さまを対象に、先着で500名の方に現金1,000円をプレゼントするキャンペーンを実施いたしました。

## ◆ トピックス

### ・昼休業導入店舗の拡大

効率的な店舗運営および従業員の働きやすい職場環境づくりのため、2021年11月より3店舗において昼休業を導入していましたが、2022年9月より新たに7店舗において昼休業を導入いたしました。窓口休業時間中もATMは普段通りご利用いただけます。

対象店舗	変更前	現在
唐津支店、武雄支店、久留米支店、大野城支店、福岡支店（※）、飯倉支店（※）、佐世保支店（※）	平日 9:00～15:00	平日 9:00～11:30 12:30～15:00 【窓口休業時間11:30～12:30】
大和支店、神埼支店	平日 9:00～15:00	平日 9:00～12:00 13:00～15:00 【窓口休業時間12:00～13:00】
嬉野支店	平日 9:00～15:00	平日 9:00～12:30 13:30～15:00 【窓口休業時間12:30～13:30】

※福岡支店、飯倉支店、佐世保支店につきましては、2021年11月より昼休業を実施しております。